

Daily Report (号外)

～10月の米雇用統計について～

結果概要

米国労働省が11月3日に発表した10月の雇用統計は、非農業部門雇用者数が前月比+15.0万人と市場予想(+18.0万人)を下回る結果となりました。前月分は+33.6万人が+29.7万人に下方修正されました。

業種別では小売業が前月比+0.1万人(前月+1.3万人)、娯楽・宿泊業が同+1.9万人(同+7.4万人)と前月から雇用の伸びが減速したほか、輸送・倉庫業は同▲1.2万人(同+1.3万人)と下落に転じ、全体を通して労働市場の過熱感の緩和を示す結果となりました。

失業率は3.9%と市場予想(3.8%)を上回りました。平均時給については前月比+0.2%と市場予想(+0.3%)を下回りました。前年同月比では+4.1%と市場予想(+4.0%)上回ったものの、前月(+4.3%)から減速しました。

労働参加率は62.7%と市場予想(62.8%)を下回り、前月(62.8%)からやや低下しました。

市場反応(米国市場)

3日の米国株式市場の主要3指数は揃って上昇しました。

米雇用統計の非農業部門雇用者数が予想を下回ったことや失業率が予想を上回ったことで、労働市場の過熱感の和らぎが好感され、FRBによる利上げが終了に近づきつつあるという観測が広がったことで、NYダウ平均株価は前日比+0.66%、S&P500指数は同+0.94%、ナスダック総合指数は同+1.38%となりました。

米国債券市場は、市場予想を下回る低調な雇用統計の結果を受けて12月FOMCで政策金利が据え置かれるという期待が強まったことで利回りは低下し、10年債利回りは前日比▲0.09%の4.57%程度で取引を終えました。

米ドル/円は、労働市場の減速を示す雇用統計の結果を受けて米長期金利が下落し、日米金利差が縮小したことで円買い・ドル売りとなり、前日比1円6銭程度円高ドル安の149.39円/ドルと下落しました。



(期間)2022/1/1～2023/11/3 (出所)Bloomberg

評価・今後の見通し

10月の雇用統計は非農業部門雇用者数が市場予想を下回り、失業率は上昇、平均時給の伸びは鈍化するなど低調な結果となり、市場では労働需給の過熱感が緩和しつつあり、賃金上昇圧力を高めないペースで雇用の伸びが続くとの期待が強まりました。

足元、米経済の減速を示唆する経済指標が相次いで発表されていることや、11月1日のFOMC後の記者会見でパウエル議長が引締め局面が終了した可能性について言及したことなどから、追加利上げの可能性は低いとの見方が強まっており、市場が予想する12月FOMCでの利上げ予想は据え置きが95%前後と大半を占める結果となっています。

引続きFRBがデータを基に今後の金融政策の方向性を判断するスタンスが維持されるとの見方は継続しており、経済指標の動向に注目が集まっています。

短期的には11月14日公表の米CPI、11月15日公表の米小売売上高等、引続き米経済の先行きとFRBの利上げの動向に注目が集まるものと予想します。

長期的にはFRBがインフレへの対応と米国の景気動向の双方のバランスをとりながら慎重に金融政策を実施していくとみられることから、経済指標の強弱に左右されるボラティリティの高い相場が継続すると見えています。

また、今後インフレが思うように収束せず政策金利が現在の水準でしばらく維持されるリスクや、米景気の急減速によりFRBが利下げをせざるを得ない状況に追い込まれるリスクにも警戒が必要と考えます。

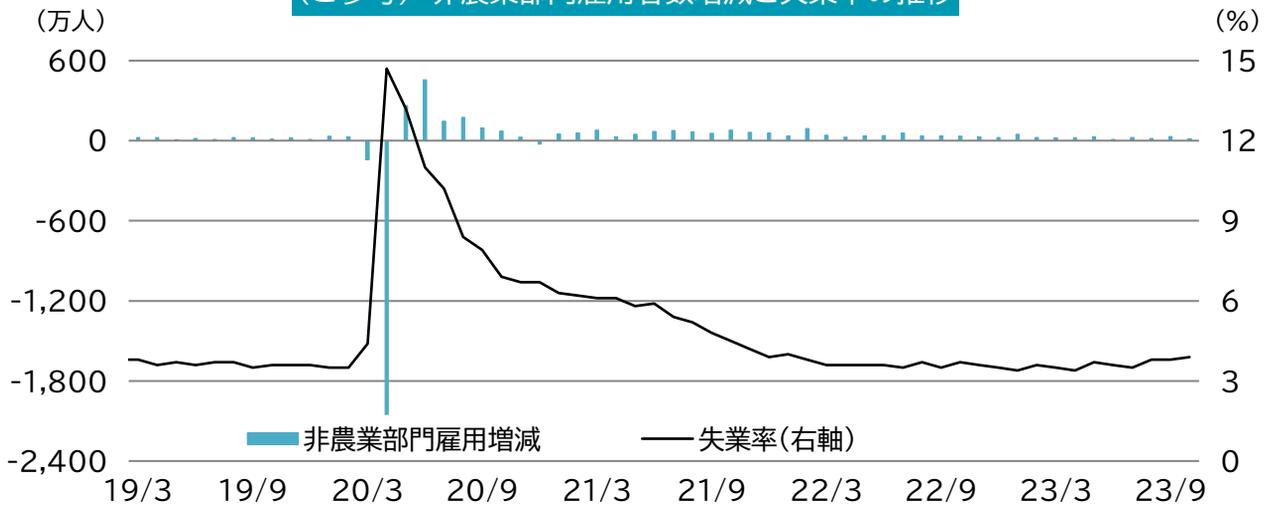
Daily Report(号外)

(ご参考) 主要業種別雇用者数増減(前月比・万人)

出所:米国防働省

	23/5	23/6	23/7	23/8	23/9	23/10
非農業部門	+28.1	+10.5	+23.6	+16.5	+29.7	+15.0
鉱工業部門	+2.4	+3.2	+1.2	+2.8	+2.8	-1.1
建設業	+2.5	+2.9	+1.2	+3.0	+1.3	+2.3
製造業	-0.4	+0.4	-0.2	-0.2	+1.4	-3.5
資源・鉱業	+0.3	-0.1	+0.2	+0.0	+0.1	+0.1
サービス部門	+23.1	+5.4	+13.3	+8.6	+21.8	+11.0
卸売業	+0.8	-0.7	+1.5	+0.3	+1.6	+0.9
小売業	+2.1	-2.3	+1.3	-0.6	+1.3	+0.1
輸送・倉庫業	+1.9	-1.9	-0.7	-2.7	+1.3	-1.2
情報	-0.4	-1.0	-1.9	-2.2	-0.4	-0.9
金融	+1.3	+0.2	+1.5	+0.1	+0.2	-0.2
専門・ビズ・社サビ業	+4.5	-0.1	-2.9	+0.8	+1.7	+1.5
人材派遣業	-0.7	-3.6	-1.7	-1.0	-0.9	+0.7
教育・ヘルスケア業	+8.8	+7.9	+10.4	+10.5	+7.8	+8.9
娯楽・宿泊業	+2.8	+2.6	+3.8	+0.8	+7.4	+1.9
その他	2.1	4.3	2.0	2.6	1.8	-0.7
政府部門	+2.6	+1.9	+9.1	+5.1	+5.1	+5.1
失業率(%)	3.7	3.6	3.5	3.8	3.8	3.9
平均時給(前年同月比、%)	4.3	4.4	4.3	4.3	4.3	4.1

(ご参考) 非農業部門雇用者数増減と失業率の推移



(期間)2019年3月~2023年10月(出所)Bloomberg